

高等学校 令和5年度（2学年用）教科

科目 家庭総合

教科： 家庭

科目： 家庭総合

2 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組

教科担当者： A組： 矢野祐子

使用教科書： 「家庭総合 明日の生活を築く」 開隆堂【家総704】

教科 家庭

の目標：

【知識及び技能】

人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

様々な人々と協働し、よりよい社会の構築にむけて、地域社会に参画しようとするとともに、自分やかてい、地域の生活を主体的に想像しようとする実践的な態度を養う。

科目 家庭総合

の目標：

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身につけるようにする。	家庭や地域および社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実に向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
単元「青年期の自立」 生涯発達の視点から各ライフステージの特徴と課題について理解するとともに、青年期の課題である自立や男女の平等と協力、意思決定の重要性について理解を深める。	指導事項 ・青年期の発達課題を知り、自分らしさとは何か考えられるようにする ・教材 教科書、ワークシート	観察 ワークシートの記述		○	○	4
単元「家族・家庭及び社会」 家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭と法律、家庭生活と福祉などについて理解するとともに、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会の関わり、家族・家庭を取り巻く社会環境の変化や課題について理解を深める。	指導事項 ・家庭や地域のよりよい生活を想像するために、自己の意思決定に基づき、責任をもってこうどうすることや、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について考察する。 ・教材 教科書 ワークシート	観察 ワークシートの記述		○	○	6
単元「生活を支える経済」 家計の構造について理解するとともに生活における経済と社会の関わりについて理解を深める。生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について、ライフステージごとの課題や社会保障制度などに関連づけて考察する。	指導事項 ・生活における経済と社会のかかわりについて学ぶ。 ・収入と支出はどのような項目があるか学ぶ。・将来のライフイベントや起こり得るリスクとその費用について考え、長期的な経済計画について学ぶ。 ・教材 教科書、ワークシート	観察 ワークシートの記述		○	○	4
1 学期 単元「消費行動と意思決定」 ・消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定や責任ある消費の重要性について理解を深めるとともに、生活情報の収集・整理が適切にできる。 ・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう、消費者問題や消費者の自立と支援などについて理解するとともに、契約の重要性や消費者保護の仕組みについて理解を深める。	指導事項 ・情報社会における生活情報について知り、その適切な活用方法について考える。 ・契約の意味を知り、契約を取り消す方法として、クーリングオフや消費者契約法について理解する。 ・様々な問題商法の手口について知り、対処法を考える。 ・成人年齢が下がったことによる被害の状況を理解し、特に若者が被害にあっている商法を理解する。 ・クレジットカードの仕組みについて知る。 ・教材 教科書、ワークシート	観察 ワークシートの記述		○	○	4
単元「持続可能なライフスタイルと環境」 ・生活と環境との関わりや持続可能な消費について理解するとともに、持続可能な社会へ参画することの意義について理解を深める。 ・持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、安全で安心な生活と消費および生活文化について考察し、ライフスタイルを工夫する。	指導事項 ・食料品、衣類、携帯電話や雑貨など、さまざまな商品が提供されるなか、安さの背景に何があるのか、具体例で学ぶ。 ・消費者として「作る責任・使う責任」について考える。 ・教材 教科書、ワークシート	観察 ワークシートの記述		○	○	2
期末考査			○	○		1

